

即可様

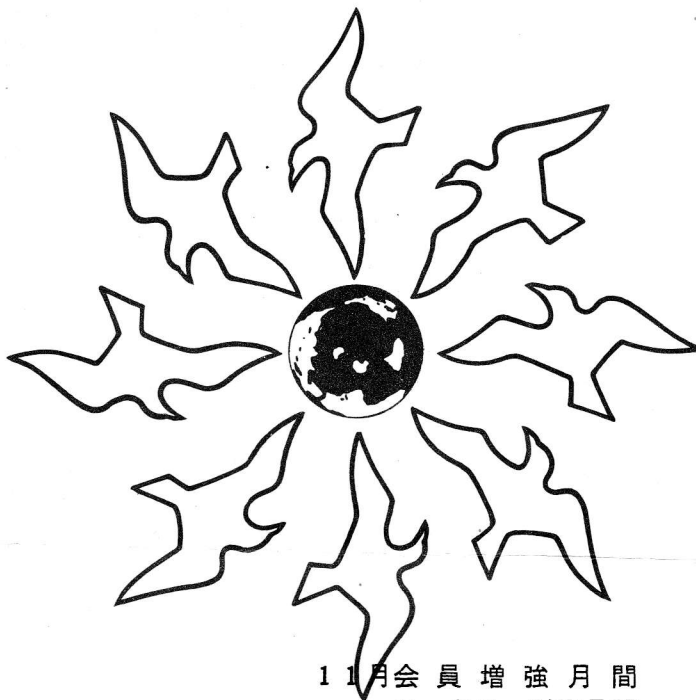


THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

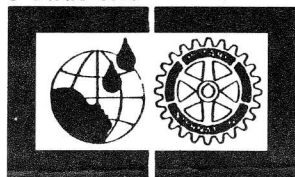
PUT LIFE
INTO
ROTARY-
YOUR LIFE

ロータリーに
活力を--
あなたの
活力を



11月会員増強月間
ロータリー財団月間

PolioPlus



● 次回卓語予定者

1988・11・25・(金) 第55回例会

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング (奉仕の理想)
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食 事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 会員卓話 (神宮寺利夫会員)
9. 点 鐘

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒880-03 佐土原町大字上田島1883番地
TEL 0985-74-1078

会 長	山 脇	忍
副 会 長	池 田	仁 志
幹 事	齊 藤	数 馬
会 計	佐 野	保
会報委員長	垂 水	敏 雄

第54回例会記録（昭和63・11・18）

会長挨拶

山 脇 忍

皆さん こんにちは。今日は第54回例会であります。

ロータリー財団の目標は、教育的、人道的プログラムに資金を提供することによって、世界の人々に理解と友好的関係を助長することにあります。

この目標の遂行には8種類のプログラムがあります。

- 奨学金（大学院課程、大学課程、職業研修、障害者教師、ジャーナリズム）
- 特別補助金
- 研究グループ交換（G・S・E）
- 保健、飢餓追放および人間性尊重（3-H）補助金。
- 開発途上国で奉仕する大学教員のためのロータリー補助金。
- 災害救援補助金
- ポリオ・プラス・プログラム
- ロータリー平和会議

以上のプログラムの中で、当クラブにおいては本年度の主要目標として、ポリオ・プラク委員会活動の推進に置いています。

ご承知のことと思いますが、ポリオ・プラスプログラムは次のようになっています。

- (1) 接種が承認されている国または地域の保健機関の免疫プログラムに対し、連続5年間まで必要なだけのポリオワクチンを提供する。
- (2) 要請があれば、ポリオ予防接種活動の計画・実施に力を貸す専門家チームを開発途上国に派遣する。

ポリオとともに、他の5つの疾病—はしか、ジフテリア、破傷風、百日ぜき、結核—is、開

発途上国世界で毎年およそ500万人の子供の命を奪っています。

ポリオ・プラスは基礎保健の施行制度を強化し、免疫の必要性を両親に訴え、資金があればポリオ以外のワクチンを補足供給することによって、これらの5つの疾病への闘いに取り組むのであります。

なお、詳細については、また来年3月ポリオ・プラス月間としてさらに本プログラムを推進するつもりでありますので、その時申し上げたいと思います。

11月は糖尿月間です。

糖尿病が、わが国で非常に増加していることは以前申し上げました。

糖尿病は現在までのところ完全に治すことのできない病気であります。

それで、治ったようにみえても“治癒”とはいわず“寛解”というのが普通です。

それは丁度休火山のようなもので、一見治ったようにみえても、またいつ病状が悪化してくるかもしれないからです。

しかし心配することはありません。

医師の指示に従って糖尿病を管理・治療すれば、健康な人と同様なうまいのある社会生活ができます。

そのためには、①患者自身が糖尿病について勉強すること、②定期的に診察を受けること、が何よりも大切です。

“糖尿病は検査と教育の病気”といわれています。

糖尿病患者が糖尿病そのものが原因で死亡することは4%程度に過ぎず、大部分は心臓、脳、

腎臓などの血管障害によるものです。

また、生命には直接関係がなくても、眼(網膜症、白内障)、神経障害(手足のしびれ、痛みなど)などの合併症もあります。

これらの糖尿病合併症は、主な原因として、

- ① 血糖値が高い状態で続く。
- ② 血糖のコントロールが悪い(高血糖と低血糖が繰り返して起こる)などが考えられます。

しかし恐ろしいのは、本人の知らぬ間にこれらの病状がゆっくりと進んでいることです。

そうならないために定期的に検査を受け、日頃から病状を十分に知っておくことが大切です。

糖尿病と診断されたら、最低限次のような検査が必要です。

- ① 血糖コントロールについての検査。
〈糖尿病の管理・治療の参考にする。〉
- ② 糖尿病性合併症についての検査。
〈その併発状況と重さを判断する。〉

以上の他に、糖尿病とは直接関連の無い併発症(たとえば癌)についても、環境や年齢に応じて、定期的にあるいは必要のあるたびに受けることが大切です。

糖尿病でありながら、健康な人々となんら変わらない社会生活をおくることは、注意さえすれば十分可能なことです。

そのためには、定期的な診察と検査は欠かすことはできません。

検査の内容や回数は患者の病気の状態によって変わりますので、同一に申し上げることはできません。医師の指示を受けることです。

そうして、きちんと検査を受け糖尿病の管理をしながら、ゆとりとうるおいのある社会生活を送ることで。



幹事報告

齊 藤 数 馬

R C 例会の変更通知が次のように来ています。

○日向中央 R C 11月23日は休会

○都城西 R C 11月23日は休会

会計より

佐 野 保

山脇 忍会長からロータリー財団へ1000ドルの寄付の申し出があり、11月15日に送金いたしました。

当クラブ初のポール・ハリス・フェローにられましたことは私たちの誇りであり、深甚の敬意を表する次第であります。



会員卓話

郡 司 武 俊

本日は歯科医師の立場から、正しい歯の磨き方についてお話しいたします。

先ず歯ブラシは小型のものを使ってください。大き過ぎると隅々が十分磨けません。

歯ブラシの剛毛は、歯の表面に露出している歯垢を取り除く作用のものですから、あまり固過ぎると歯ぐきを痛めることもあります。

歯の磨き方は、バス法といって、歯ブラシの剛毛を歯ぐきに対して45度の角度で、前後に磨く方法を勧めています。

上・下の歯の表と裏で合計12箇所磨くところがあります。

きき腕と反対側の歯の方から磨くのがよいと思います。

一番奥の歯の奥側面は十分剛毛が届くように留意してください。

前歯(上・下)の裏側は、歯ブラシを縦にして、歯に平行に、かき出すように磨いてください。

歯のかむ面はそのまま面上を前後に磨きます。

歯磨き剤はつけなくてもよいものです。

歯垢を除くにはあまり効果はなく、むしろ歯をすり減らす場合があります。

食後、つまようじを使う方が多いようですが、歯ぐきを傷つけることがありますので、本日お配りしましたデンタル・フロスを使うようにしてください。

デンタル・フロスは、歯ブラシの剛毛ではとどかない歯間にたまった歯垢を取り除きます。

歯ブラシで歯を磨いても、デンタル・フロスを使用しなければ、半分しか歯磨きをしていないことになります。

デンタル・フロスの使い方をお示ししましたが、なれると簡単にできます。

食後は、はじめにデンタル・フロスで歯間の歯垢を除去し、次に歯ブラシで歯の表面の歯垢を取り除くことを実行してください。

習慣化することが何より大切です。

また、歯ブラシは使用後3週間を限度に、新しいものに代えていくことが望まれます。

(文責編集者)

出席報告

第54回例会 11月18日(金)

会 員 数	19名
ホーム欠席者数	4名
ホーム出席者数	15名
ホーム出席率	78.95%
メイクアップ者数	0名

欠席者名 神宮寺・上田・日高・立山

三たび続いての朗報

山協会長から、新会員として、本町の中堅実業家で著名な「武政 勝(タケマサマサル)」さんをお迎えすることになりましたので、よろしく願い申し上げます、との歓びに満ちたお知らせがあり、池田副会長より次のように武政新会員の略歴紹介がありました。

武 政 勝 会 員

- ・昭和16年12月11日生
- ・住所 佐土原町大字下田島9043の1
- ・有限会社 武政自動車 社長
- ・県立大淀高校機械科卒
- ・佐土原町商工会理事
- ・中学・高校時代は機械体操選手として活躍
- ・趣味はバレーボール、ソフトボール

次いで山協会長から、佐土原RCバッジの贈呈(取り付け)が行われました。

◇武政会員の入会ご挨拶要旨◇

「佐土原RCの例会に初めて出会いましたが、楽しくなごやかな会だと感じました。

いろいろな職種の方々の交流を通じて、未熟な私ですが、一生懸命勉強していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。」

理事会報告

例会終了後に理事会を開き、新入会の方の所属委員会を次のように決めさせていただきました。よろしくお願いいたします。

- | | |
|----------|---------|
| ○ 正岡文郁会員 | 親睦委員会 |
| ○ 蛭原初美会員 | S・A・A |
| ○ 武政 勝会員 | 社会奉仕委員会 |